

きずな

発行日 令和3年3月1日
 発行 座間市青少年指導員協議会
 住所 座間市立野台1-1-4
 (市立青少年センター内)
 電話 046(253)8415

第41回青少年芸術祭

青少年美術展の審査風景と入賞作品

本年もまた青少年芸術祭の季節がやってきた。青少年芸術祭は、人形劇・音楽・展示・舞踊の四部門で成り立っている。そのうちの展示部門については、例年、3月にハーモニーホールで開催(展示)される「青少年美術展」であり、市内の小学校・中学校・高校・座間養護学校などから作品が集まり、今年は、3月6日(土)・7日(日)の2日間、ハーモニーホール座間小ホールで展示される予定だった。この一大イベントを成功させるため、作品を募集・収集・整理・審査の協力、会場準備・受付などを行っているのが私達青少年指導員である。この美術展のために作品を募集し提出された作品は一番重要な作業となる“作品審査”を行う。今年も審査は元三軌会会員の吉野光治先生、日本写真協会会員の高橋ざいち先生にお願いしました。今年は新型コロナにより多人数が来場する美術展の開催が危ぶまれ、「美術展は行われるのか？」と心配の中、1月に緊急事態宣言が発令されている時期に審査会場準備をした。審査はまず奨励賞が選ばれ、その中から「これはいいねえ！」という特に印象に残った作品に各大賞(市長賞、議長賞、教育長賞、審査員特別賞)が贈られることになる。審査の作品も新型コロナ対策のため密にならないよう会場を複数に分散したため、約1日をついやした作品審査は、“大賞決定”という大仕事の後、安堵とねぎらいと充実感の拍手で終了した。今年は新型コロナによる緊急事態宣言の延長で、「作品展示の運命は？」というようなタイトルが頭をかすめた。危惧したとおり今年も昨年に続いて「中止」となってしまった。

審査風景



コロナ対策で作品を各部屋に分散して審査

※出品頂いた作品は3月13日(土)~31日(水)の間、座間市ホームページに掲載予定です。「第41回座間市青少年芸術祭 青少年美術展作品」と検索してください。



市長賞

コラグラフ「自然」

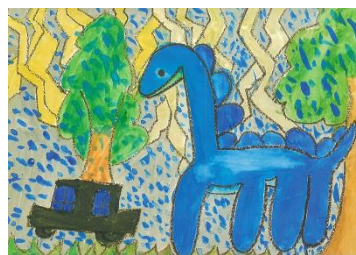
相模向陽館高校 4年 岡野篤生



議長賞

「幸せな時間」

相模中学校 3年 佐々木紀音



教育長賞

「かい主の車を助けたキョウリュウ」

座間小学校 3年 片野心乃



審査員特別賞

「一本どうぞ」

座間総合高校 2年 横田結衣

各地区の活動報告

コロナ禍での振り返り 【座間中学校区】

今期メンバーの入替えがあり、3期務められた清水さんが退任され、新メンバーに小坂さんを迎えてのスタートです。コロナ禍で、感染拡大に伴いイベントが自粛や中止となり、私達メンバーもメールでの情報共有を行っています。例年であれば、秋には子ども達と楽しいひと時を過ごす「青少健フェスティバル」があり、各団体や地域の方々にもご協力をいただき、皆さんとの交流のきっかけとなる場もなくなってしまいました。唯一の活動と言えば、相東小の夏季パトロールや座間中の校内駅伝大会へのパトロール協力をさせていただきました。例年、沿道には多くの方々から激励されながら走る生徒達ですが、今年はちょっぴり歓声も少なくひたすら走り抜く姿を見守りました。



今後できることを考え、指導員も一緒に成長 【西中学校区】

今期は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、青少年フェスティバルが中止となりました。皆の安全や健康を何よりも一番に考えなければならないので、とても苦渋の決断でした。指導員の月一回会議もなかなか集まることもできない中でしたが、9月10月のあいさつ運動では、マスクを着けながら元気に登校する生徒に会いPTA他の皆さんと活動することができました。「安全・安心まちづくり旬間」期間中には座間駅前でもマスクを配布し、公民館とコミセンにマスク設置依頼



をして注意を促し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した防犯啓発活動に取り組みました。このような状況下ですので今後できることを考え、事業も工夫していかなければなりません。現在は3月の青少年美術展に向け準備をしております。今後も、小中学校のPTAや地域の方々子ども達が元気に育っていく地域づくりのお手伝いできればと、活動を通して指導員も努力していきます。

令和2年度の活動も終わり 【栗原中学校区】

この一年、新型コロナウイルスの感染拡大により文化部・野外部の研修、ふるさとまつり、青少年フェスティバルなどが相次いで中止となりました。地区協、青少健での集会も難しくなり、各地区のフェスティバルも中止となったため、指導員としての活動ができなくなってきていると感じています。2021年に入り、成人式も中止。現在は3月上旬に予定されている青少年美術展に向け、準備をしております。各小学校・中学校・高校・養護学校より作品を回収しました。密を避けるため例年よりも部屋を増やし換気をする等寒い中でしたが先生方に審査していただき、つつがなく終了しました。今後とも集会の際は感染拡大につながらないように、私達一人ひとりの認識を今一度改めて、「新しい生活様式」に合わせた活動を考えていかななくてはと思う一年でした。これからも元気に活動できるよう、健康には気をつけて過ごしていきましょう。



今は活動できなくても前を向いて 【東中学校区】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、指導員全体での活動はほとんどできませんでした。また、地域の夏祭りのパトロールやメインイベントの青少年フェスティバルなど、地区での活動も全くできない状態でした。そんな中でも、せめて地区協だけでもと、しっかりと顔を合わせて開催するようにしました。(安否確認?笑)「今年度は活動がなくて気が抜けちゃうね」地区協でのもっばらの会話。「何かできることはないかしら?」



と話し合っているうちに、「来年度に向けて、今のうちに準備できることをやっておこう」ということになりました。まず手始めに、フェスティバルで使用する大鍋カレー用のかまどを修繕しておくことにしました。今年度は活躍することなく倉庫で眠っていたかまどを引っ張り出して、新品の煙突をセッティングしてみました。「おお、なかなか立派じゃないですか!」これで煙に燻されて顔をしかめることもなくなるでしょう。



今後もより良い活動に向けて前向きに考えていきましょう!!

“異常な日常”も終わりはくる“その時”を待とう 【相模中学校区】

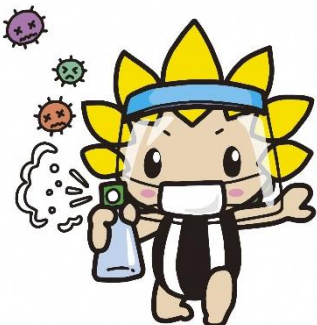
突然だが「King Gnu (キング・ヌー)」という日本のロックバンドを知っているだろうか。今年1月NHKで放送された「常田大希 破壊と構築」で知ったこのバンドを率いる常田氏(28)は、番組の中で自らの音楽活動を『コロナで冷凍保存された2020年を力ずくで動かそうとして』と語った。「冷凍保存」はうまい表現だと思った。コロナの影響で世界中で様々なイベントが延期や中止を余儀なくされ、それらは「失われたもの」だと思っていたが、冷凍保存なら解凍すればいいのだ。世界は今コチコチに固まっているが、世界中の頭脳が協力し、史上類を見ないスピードで対応(解凍)にあたっているから、今は自粛生活に耐え静かに“その時”を待とうと思う。

思えば昨年の指導員活動は「マスク配布」だけだったし、月に一度の地区協議会もグループLINE開催になった。今年も成人式が中止になり恒例の応援もなくなった。一刻も早くコロナが終息に向かい秋に予定されている「青少年フェスティバル」「ふるさとまつり」が無事行われることを願うばかりだ。



子ども達のため 【南中学校区】

南中指導員はその立場から、青少健、地域コミセン、文化センターイベント etc、地域活動に参加しています。メインイベントとなってきたフェスティバルを主催し、開催には青少健の協力を求め、青少健の活動には積極的に参加しています。フェスティバルでは、当たり前のように協力して下さる地域団体の方々、先生方、そして生徒のみんなの力添えにより、毎年天候に恵まれ大盛況に開催されています。(実行委員長晴れ男(笑))。地域のお祭りでも、子ども達の楽しそうな笑い声・笑顔に「この笑い声・笑顔」を守りたいとパトロールは毎年張り切って参加しています。今はコロナの影響で様々なイベントが中止になり、全員揃っての活動は自粛中。



こんな時だから思ったことは、各々の活動内容は違うけれど、指導員は地域の方々と協力関係を大切に、志を共有し「全てが子ども達のために」、その頂点にある志はみな同じであるということに気づきました。

神奈川県青少年育成活動推進者表彰

令和2年11月に神奈川県青少年育成活動推進者の表彰がありました。座間市からは栗原中学校区青少年指導員の大澤道夫さんが受賞いたしました。



【受賞コメント】

指導員活動を通じて沢山の人と交流ができた。メンバーに支えられながら子ども達や地域の為の活動ができた。これからも青少年健全育成に努力をして行く。そして、これまでやってこれた事に対して皆様に感謝申し上げます。



神奈川県青少年指導員表彰

令和2年8月に南中学校区大矢弘さんが表彰されました。例年9月に実施される県指導員大会にて表彰式が執り行われていましたが、今年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響で郵送対応となりました。



【受賞コメント】

表彰ありがとうございます。活動を通じて多くの方々と知り合い、微力ながら青少年指導員の活動にたずさわれたことに感謝申し上げます。



～収束を信じて～ 文化部会より

経験したことのないコロナ禍、文化部をはじめとする青少年指導員のほとんどの事業ができなくなりもどかしい思いでいるのは私だけではないと思います。何度心の中で「コロナの馬鹿あー！」と叫んだことでしょう。でも必ず収束の日はくるはず！青少年指導員のみなさんと、また楽しく活動できる日を楽しみに、感染予防をしっかりとしながら、日々過ごしています。文化部については、思考停止しています…申し訳ありません！

再開した節は、皆さんの協力のもと進めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(文化部長 東谷 美樹)

～今年こそ！～ 野外部会より

『もうすぐ地区幹事のお仕事も終わりだな』なんて思っていた頃、会長からお電話を頂きました。今まで携わったことのない野外部、しかも部長のお願いでした。とても荷が重かったのですが会長もサポートして頂けると言う事でお引き受けしました。有山さんに副部長をお願いして安心して活動できる！と思ったのですが全体会も無くなり、他の学区の皆さんにもお会いする事なく新年度がスタートしました。今年は学区の方でも指導員として何もできない一年でした。4月からの新しい一年は皆さんのお力をお借りして野外部の活動も今年こそできると良いと思います。

(野外部長 山本 千種)

令和3年座間市成人式 ～成人式が中止に～

新たな門出を祝うかのような晴天に恵まれた1月11日(月・祝)の成人の日。新型コロナウイルス感染症対策として密にならない配慮で、ハーモニーホール座間大ホールを会場に、午前と午後の二部制で『座間市成人式』が開催される予定が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け急遽中止となってしまった。医療体制がひっ迫する中、市民全体の命と健康を守るため苦渋の決断であったと思います。中止は初めてで、例年の青少年指導員の受付・会場整理・来賓接待などの手伝いもなくなりました。

今年度の市内新成人は1,273人(一部592人・二部681人)は、大人の第一歩を踏み出す「式」の中止という残念な結果になってしまいましたが、私達指導員は心の中で「おめでとう」と温かく見守りました。

編集後記

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言を受け、青少年指導員の団体活動にも多大な影響がありました。きずな部会、文化部会、野外部会の3部会で活動している指導員協議会は活動自粛、会報作成のきずな部会を除いて1年間活動できず、定例の会議や研修が中止になり、さらに他市指導員との合同研修もできませんでした。指導員が何をしているか広報できることが無いに等しい1年になってしまい、会報「きずな」はどうするか？大変な1年でした。それなら、指導員の隠れた目につかない活動も掲載していけるのではと、今年度はきずな編集委員の協力をいただき何とか第60号と第61号ができました。こんな年は今まで初めてでしょう！収束には時間が掛かりそうで、まだまだ心配されますが、健康には十分注意して活動していきましょう。

(南中学校区 大矢 弘)